

令和5年度 国立大隅青少年自然の家 鹿屋体育大学 共催事業 SEA TO SUMMIT for Children 2023 in 大隅

- 1 趣 旨 人力で海から里そして山へと進む中で、自然の循環を体感し、かけがえのない自然について考えるとともに、仲間と困難に立ち向かい、声を掛け合いながら克服する喜びを味わう。
- 2 期 日 令和5年10月21日(土)～22日(日)
1泊2日
- 3 参加対象 小学4年生～中学3年生
- 4 募集定員 20人
- 5 参加者 20人(申し込み:26人)
- 6 指導者 国立大隅青少年自然の家職員4人
鹿屋体育大学実習生8人
CCC株式会社スタッフ12人
鹿屋体育大学海洋スポーツセンター副センター長 榮樂 洋光氏
霧島山岳会会長 南竹 成己氏



7 日 程

10/21(土)		10/22(日)	
9:30	受付、開会式	7:00	朝食、退所点検
10:00	アイスブレイク	8:00	ステージ2「バイク」 新城海の家～宮脇公園
11:00	環境学習、グループ学習	10:00	ステージ3「ハイク」 新城海の家～眺望地点
12:00	昼食	12:00	昼食
13:00	ステージ1「カヤック」 新城海の家周辺	13:00	ふり返り
18:00	夕食	14:00	閉会式、解散

8 事業運営上の配慮

- 片付けまで参加者がやりきれるように、時間に余裕を持ったスケジュールとした。
- 実習生が主体性を持って参加できるよう、事前のミーティング・準備・役割分担を行った。

9 参加者の感想

- 水の大切さ、水に感謝したいと思った。 ○水はどの生物、どの場所にも関係あることが分かった。
- 水に対しての価値観や新しい知識が増えたことで様々なことに気づき、考えることができた。
- 地球全体の水が入り替わるまで3,200年かかることが分かったので、今よりもきれいな海をいつまでも保っていけるように、ゴミを拾ったり、気にしていきたい。

10 成果

- 地域の団体から講師やスタッフなどの人手の協力をいただいたこと、そして企業からは協賛金をいただいたことで本事業が運営・実施できた。
- スタッフとしての実習は、ボランティアは未経験であったため、事前に研修や練習等を入れることで、当日も十分な指導と安全な活動が実施できた。

